

第78回読書週間(10/27~11/9)

すっかり秋めいてきた10月。朝・晩かなり寒くなってきました。体調管理には十分気をつけたいですね。

10月27日から読書週間です。感受性が豊かな今こそ、本の世界にじっくりとふれ、豊かな人生を送ってほしいと思っています。ゆっくりと心落ち着けて読書をするには、最適な季節になりました。読書を通して新たに趣味や興味を見つけ、世界を広げてみませんか？



10月の新着予定本(全28冊)



四季を詠む 365日の体感
三宮麻由子/集英社文庫

紅梅の甘さをたっぷり含んだ香り、白梅の高貴な気品を感じる淡い香り「春」。夏料理を代表する寿司を食べて泣いた、高校一年のアメリカ留学前夜「夏」。蕎麦打ち体験で触れた新蕎麦の生地は、絹の感触「秋」。火の用心を呼びかける夜回りと拍子木の音が、安堵のバールを張っていく「冬」。4歳で視力を失った著者の瑞々しい表現力と感性が光る。音、匂い、手触り、味の四感で、四季を味わうエッセイ集。



本を読んだことがない32歳がはじめて本を読む 走れメロス・一房の葡萄・杜子春・本棚
かまど・みくのしん/大和書房

【100万人が読んだすごい読書！！！！】名作3作+『変な家』大ヒット・雨穴「本棚」特別寄稿！SNSで話題沸騰の「オモコロ」大人気シリーズを書籍化！1人の男が人生で初めて本を読む。ただそれだけの記事が爆発的に拡散され、100万人の目に留まる大ヒット記事に！この本でしか味わえない、不思議な読書体験をぜひお楽しみください！



他に



- ・動物哲学物語 確かなリスの不確かさ
ドリアン助川/集英社インターナショナル
- ・いのちの車窓から(2)/星野源/KADOKAWA
- ・夜更けより静かな場所/岩井圭也/幻冬舎
- ・あのころの僕は/小池水音/集英社
- ・日記の練習/くどうれいん/NHK出版
- ・愛と忘却の日々/燃え殻/新潮社
- ・メゾン・ド・プティ・フールの焼き菓子 やさしくて味わい深い、“メゾプチ流”のお菓子づくり/西野之朗/柴田書店
- ・河出新書 いま読む『源氏物語』
角田光代・山本淳子/河出書房新社
- ・癡狂院日乗/車谷長吉/新書館
- ・大使とその妻(上)(下)/水村美苗/新潮社
- ・かもめジムの恋愛/大前栗生/小学館
- ・僕の人生には事件が起きない/岩井勇氣/新潮社
- ・どうやら僕の日常生活はまちがっている/岩井勇氣/新潮社
- ・この平坦な道を僕はまっすぐ歩けない/岩井勇氣/新潮社
- ・生殖記/朝井リョウ/小学館
- ・春のほとりで/君嶋彼方/講談社 etc



不機嫌な青春/壁井ユカコ/集英社

切なくてまぶしい、残酷でもどかしい、思春期(あのころ)のすべてが詰まった胸疼く青春×SF短編集。アニメ化もされた大人気スポーツ小説『2.43 清陰高校男子バレー部』著者、デビュー20周年記念作！



耳に棲むもの/小川洋子/講談社

耳の中に棲む私の最初の友だちは涙を音符にして、とても親密な演奏をしてくれるのです。補聴器のセールスマンだった父の骨壺から出てきた四つの耳の骨(カルテット)。あたたかく、ときに禍々しく、静かに光を放つようにつづられた珠玉の最新作品集。オタワ映画祭VR部門最優秀賞・アヌシー映画祭公式出品世界を席巻したVRアニメから生まれた「もう一つの物語」



春、出逢い/宮田愛萌/講談社

部活存続の危機に直面していた東京都立櫛門高等学校文芸部。二年生で部長の吉徳紅乃は、先輩の木虎礼登と部員集めに奔走していた。顧問の先生の提案から短歌初心者が多い中、八月に開催される短歌甲子園出場を目指すことに。瑞々しく等身大の言葉で競い合う、作家・宮田愛萌が描く高校生たちの熱き青春譚。物語を彩る、宮田愛萌さんによるオリジナル短歌を約六十首収録。



9月末クラス別利用状況

クラス 学年	1組	2組	3組	4組	職員	計	総計
1年	0	0	0	0		0	23
2年	0	5	0	0		5	
3年	0	2	0	10		12	
職員					6	6	

